

医系総合大学の特色を活かした学部連携教育

昭和大学は、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部からなる医系総合大学の特色を活かし、チーム医療に積極的に貢献できる人材を養成するために、全学年にわたる体系的、段階的な「学部連携教育」を実施し、チーム医療の実践に必要な能力を学習する。低学年では、チーム医療の基盤作りとして、大学内外での施設を利用した各種の体験実習やPBLチュートリアルなどの問題解決型学習を、高学年では、大学の附属病院や地域医療施設での実践的なチーム医療学習を、いずれも4学部合同カリキュラム（多職種連携教育、interprofessional education:IPE）として実施する。

初年次体験実習 1年次の全寮制の環境を活かした早期体験実習として、4学部合同の学生グループで、①病院見学、②福祉関連施設体験、③AED+心肺蘇生および外科的救急処置の実習を行う。

医療・福祉におけるチーム医療のプロセスの見学学習 医・歯・薬学部2・3年次では、各学部で、学内外の医療・福祉現場での見学を通してチーム医療の実際とそのプロセスを学習する。薬学部では、2年次「診療の流れを知る」で、外来診療、病棟看護業務、病院薬剤師業務を見学する。3年次「福祉の現状を知る」（選択）では、高齢者福祉施設での介護・服薬ケアにおける連携を、「救急医療・外科医療と薬剤師」（選択）では、手術部、救命救急センターでの救急・外科・麻酔医療におけるチーム医療を学習する。

学部連携PBL(Problem-based learning)チュートリアルによる問題解決型学習 4学部合同の学生グループによる学部連携PBLチュートリアルを1・3・4年次（保健医療学部は1・2・3年次）に実施する。内容は学年に従い徐々に臨床の場面設定に近づく累進型としている。1年次には身近な話題をテーマとしたPBLチュートリアルを2回、3年次（保健医療学部2年次）には患者症例をもとにした臨床シナリオ・PBLチュートリアルを1回、4年次（保健医療学部3年次）は、病棟での資料を用いた病棟実習シミュレーション・PBLチュートリアルを1回実施する。

学部連携病棟実習 医・歯・薬学部5年生、保健医療学部理学療法学科3年生、看護学科・作業療法学科4年生の学部合同チームが同じ患者を1週間担当する学部連携病棟実習を、附属7病院の約40病棟で実施する。

学部連携地域医療実習・学部連携アドバンスト病院実習 医・歯・薬学部6年生、保健医療学部4年生の選択実習として、在宅医療を中心とした地域におけるチーム医療を学習する学部連携地域医療実習、および大学病院における専門性の高い領域（がん、感染制御、救急医療、周産期医療など）のチーム医療を学習する学部連携アドバンスト病院実習を実施する。

昭和大学の体系的なチーム医療学習のカリキュラム

